

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆日越交流大阪大会・山陽株式会社視察訪問

VCCI（ホーチミン市商工会議所）の皆様は、山陽株式会社本社（大阪府）及び工場を訪問しました。業務内容の説明を受け、工場視察の後、社員食堂で昼食をいただき、日本企業の福利厚生などの体験ができる機会となりました。日本国内での製造が厳しくなっている状況の中、山陽では、様々な特徴を活かし、柔軟な対応力で世界メーカーとして活躍されています。主に取り扱っているのは金属加工ですが、エンジン関連、自動車関連、二輪車関連、農業機械関連など多種多様な分野において展開されています。



また、独創技術を追求したオンリーワンを目指すのではなく、様々な加工技術を組み合わせ、科学的なアプローチで部品から組立までの総合的なプランニングでお客様の要望に応えています。正社員数は約24%と比率的に低く、作業の標準化によって熟練の技術者でなくても高品質を保持するモノづくりが可能となっており、山陽の強みの一つとなっています。現在取り組まれているのは、お客様から図面を頂いて製造を行なう量産的なモノづくりとお客様の要望によって設計・開発から量産まで行なっていくモノづくりです。海外ビジネスにおいてはお互いに成長していけるようなパートナー企業を探されています。これまでに培ってきたノウハウの提供、技能研修などを積極的に進め、ベトナム現地の雇用安定や生活レベルの向上に貢献していきたいとお話でした。



◆新時代を創る、テーマは「時代をビジネスする」

大分新時代が見え出しました。全く新しい事ではなく、これまでの財産を新しく組み替えるか、システム化するかが中心のようです。要は、ハードにソフトが加わり、その度合いが増しているのです。既成概念のトリコになっている人には大変な時代になるでしょう。BSOの今後のビジネステーマでもあります。

◆岩佐佛喜堂が新しいお香を開発

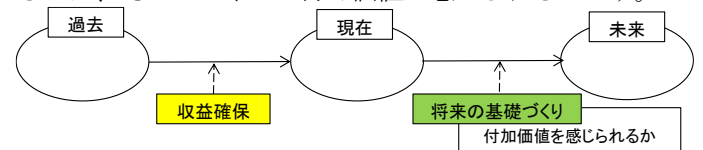
株式会社岩佐佛喜堂（香川県高松市）が、煙が下に流れるお香「流川香」を開発しました。「流川香」はラベンダーとローズの2種類の香りがあります。12月には発売予定です。滝などを模した専用の台座で焚くと煙はほとんど上に昇らず溝に沿ってゆっくりと下に流れます。香りとともに癒し効果も期待できます。（2014.11.24日経新聞掲載）

◆サービスが付加価値になる

BSOはこの様な時代が来ることを予測して、あらゆる産業でアクセサリ業務の品質管理の必要性、重要性を提唱してきましたが、殆どの機関の業務・実務レベルで全くできていないといえるでしょう。このギャップを埋めるためには、品質管理の視点に立ったアクセサリ業務の開発と品質管理意識の風土化に取り組むことが必要です。これが、現代では付加価値経営の大きな要素の一つになり、企業間競争での差別化の大きな材料となるでしょう。

◆移行の経営手法

ビジネスには色々な場面で広がりが出てきますが、その時にいかに対応出来るかが重要になってきます。そして、商品・ビジネスにいかに高付加価値をプラス出来るかを考えることです。それには「過去→現在→未来」で捉えるのではなく、「過去、未来があるから現在がある」という捉え方が必要になってきます。過去のビジネスだけでなく、未来のビジネスも同時にやっていかなければいけません。過去からのビジネスでは収益の確保、未来へのビジネスでは将来の基礎を創っていく必要があります。将来の基礎に出来るかは、そのビジネスに付加価値が感じられるかです。



例えば、氷温物流の場合

以前、氷温化ビジネスに取り組んでいましたが、現在は氷温物流で生鮮食品を全世界へ輸出することを構想しています。これが実現できれば、大きな付加価値につながります。まずはひとつのことに留まらず、色々な特例に取り組んでみる姿勢が大事です。次にこれから人財を確保することがますます難しくなるため人件費を上げることが余儀なくされ、ますます商品・ビジネスの付加価値を上げていく必要があります。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ